

令和7年度

第2回学校運営協議会 議事録

○期 日：令和7年8月26日（火）

○時 間：10時30分 ～ 11時45分

○場 所：プレイルーム

○出席者：学校運営協議会委員8名

A委員（教育関係者）

B委員（社会福祉関係者）

C委員（地域関係者）

~~D委員（地域振興関係者）~~ 欠席

E委員（生徒保護者）

F委員（地域企業関係者）

G委員（町内会関係者）

H委員（福祉施設関係者）

学校関係者8名 副校長2名、総括教務主任、中学部主事、高等部主事
生活指導部長、進路部長、寮務主任

<会議次第>

1 開会

2 校長挨拶

3 会長挨拶

4 これまでの取り組みの紹介

5 議題（取組の課題）

テーマ1：「これまでのいじめ防止取組の課題と学校・家庭・地域で
できるいじめ防止対策」

テーマ2：「これまでの地域との連携協働の課題と学校・家庭・地域
が連携協働してできること」

・その他

5 提言

6 閉会

1 開会

2 校長挨拶（副校長）

- ・これまでの取組の課題と今後の在り方について協議していただきたい。
- ・前半はプレゼン、後半は熟議を行う。未来のためにこれまでの取組を総括したい。

3 会長挨拶

- ・第 1 回が 4 月に行われ、すでに学校は 2 学期に入っている。たくさんのご意見を伺って、中学校にも生かせるものがあり勉強になった。今日もたくさんのお話ができればよい。

4 これまでの取組の紹介

【中学部】

- ・堀切クリーン作戦は昨年度まで高等部が行っていたものを引き継いだ。生徒の体調や体力に合わせて、マレットゴルフ場周辺までの往復と、堀切ふれあいセンター方面の往復の 2 班に分かれて、30 分程度道路のごみ拾いを実施した。地域には回覧板でお知らせした。事前の申し込みは不要とし、自由に参加してもらった。地域からの参加者は 3 名。年々高齢化が進み、参加者は増加しにくいとのこと。清掃については生徒の実態からしっかりとした清掃活動は困難だが、今回と同様であれば継続は可能。今後クリーン作戦を継続していく。
- ・外部での販売活動については、製品数を確保することが難しい。可能であれば高等部が外部販売を行うときに委託してやりたい。
- ・侍浜中学校統合による学校間交流は次年度どのような形でできるか検討している。新聞の作成や交換など間接交流を続けながら今後の在り方を探る一年としたい。

【高等部】

- ・地域の関わりについては 5 月 26 日に花壇整備を行っている。侍浜保育園、堀切ふれあいセンター、侍浜駅の 3 か所で実施した。堀切地区の方 10 名程度参加していただき、声掛けをしていただいた。
- ・技能認定は 7 月 11 日に行われた。目的や内容については資料の通り。

【寄宿舍】

- ・生活の様子、各種活動の様子は資料の通り。
- ・寄宿舍まつりについては暑さ対策が課題。

【生活指導部】

- ・7 年度のいじめ防止に関わる活動については資料の通り。児童生徒会を中心にいじめゼロ宣言動画を作成した。

5 熟議

テーマ 1 : 「これまでのいじめ防止取組の課題と学校・家庭・地域でできるいじめ防止対策」

テーマ 2 : 「これまでの地域との連携協働の課題と学校・家庭・地域が連携協働してできること」

《A グループ》

- ・どの世界にもいじめはあるが、一人にしないことが大切。
- ・様々な問題の解決のために保護者は、相手にどうして欲しいのかだけでなく、自分の子供についての理解も深めていく必要があると感じる。
- ・小さなことを見逃さないように、家庭との連携を密にすることが大切。

- ・社会に出るといろいろな人と関わることになる。自分の思い通りにならないことも、我慢する力が必要になる。
- ・地域との関わりは行事としてはできるが、日常的には難しい。
- ・地域コーディネーターを活用できればよい。
- ・学習活動の中で空き缶回収のため各所を回るといような必然的な流れがあるとよい。

《Bグループ》

- ・いじめの重大事案はないが、日常的に指導する部分はある。
- ・SNSのトラブルは把握しにくいので、話しやすい雰囲気をつくる。
- ・孤独にならないよう目を配り、細かい介入をしていくことが大事。
- ・保護者もSNSには不安を感じており、家庭での見守りも大切。
- ・地域協働については負担が大きいときには止める選択も必要。
- ・保護者も地域との関わりは求めているので、行事を精選していくことが必要。

その他

- ・特になし。

6 提言

- 【F委員】「地域」のワードがよく出てくる。「地域に頼る」という考え方をもってもよい。近くにないときには「地域」を広げて考えてみるのもよい。
- 【B委員】地域コーディネーターは高齢者向けが多い。情報が必要ときには声をあげてほしい。SNSが不可欠な時代に使い方を考えていく発想が必要である。
- 【C委員】地域の情報は市民センターがもっている。地域が学校に頼ることもできたらよい。6月に花いっぱい運動があったが、拓陽が育てた苗をたくさんいただいた。感謝したい。
- 【E委員】いじめについては学校でよく取り組んでもらっていると感じている。
- 【G委員】昨日からみこし作りが始まり、紙貼りを御協力いただいている。本日もいろいろと勉強させていただき感謝している。
- 【H委員】みずき園、あすリード本舗は拓陽の卒業生が大半を占めている。いじめ問題は以前は差別という感覚から生まれてきたと感じている。最近はそれだけではなく、様々なケースがいじめ認定され、対応が必要になってきていると感じる。
- 【A委員】いろいろな立場の方がいろいろな視点から話ができてよかった。地域連携は難しいが、つながりを増やしていくことが大切。意見の中から実現できることを増やしていってほしい。

7 連絡

- ・次回令和8年2月17日（火）開催

8 閉会